#163

シラン

準絶滅危惧(NT)

Bletilla striata

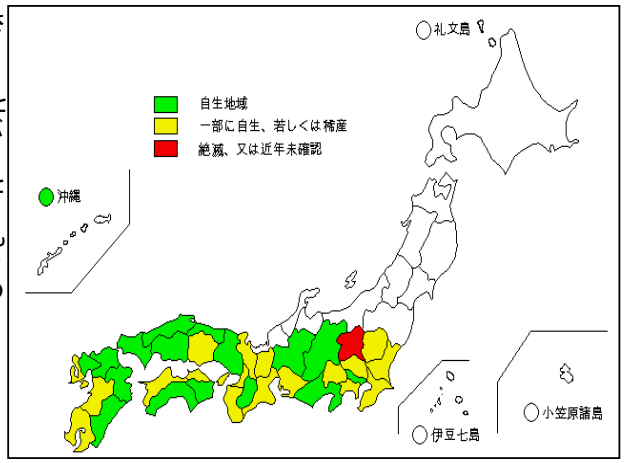
シラン（愛知県豊橋市　09.5.10）

福島県以南に自生する大型の地生蘭。好んで庭先で栽培されている為最も身近で良く見かける野生蘭です。4～5月頃にその名の通り紫がかったピンク色で大きな花をつけます。草姿は30～50cmほどの木立ちとなり、やや硬質でしっかりとした葉を4，5枚展開します。冬期は地上部が枯死し、地下バルブの状態で越冬します。

あまりに身近な花なので、本種を日本に自生する野生蘭とは知らずに栽培されている方も多いのではないでしょうか。

ほうっておいても元気に育ち、引っこ抜いて捨てておいてもそこに根を張るほどたくましい蘭ですが、自生環境は池のおとりの土手など明るく十分な湿気のある環境を好み、人間の生活環境に近いことから住宅や道路開発の犠牲となり、意外なことに自然界では絶滅寸前となっています。

ただしあまりに多く栽培されている為、草むらで出会ってもそれが栽培放棄株なのか元来の自生なのかは判断に困るケースが多いです。



寒冷地を除く全国の明るい草地に自生します。

シラン（愛知県豊橋市　09.5.10）

花色は濃桃色が基本種ですが、改良品種で白花や淡いピンク、リップだけが色づくタイプや青みがかった花、斑入り種など千差万別です。

どこのホームセンターでも売られている為入手は極めて容易です。栽培条件も問わず、明るく水捌けのよい場所を好みますが、多少日陰でも元気に育ちます。

増殖も容易でほうっておいても2，3年で株立ちになります。プランターに植えておくとすぐにいっぱいになってプランターを破壊してしまうほどです。結実率、発芽率も他の蘭に比べて格段に高いのですが、あまりに株繁殖が旺盛な為実生による増殖はまず行われません。

10.2/11作成

Document and photo by LittleFlower 2010